

# 件名：「経済分野における友好協力に関する協定」 台湾・社頭郷との締結について

## 1 目的

観光交流や農畜産物の販路拡大など経済分野の交流を推進するため、台湾・社頭郷と友好協力協定を結び、今後、お互いの地域に経済的利益をもたらし、両地域の発展に大きく貢献することを目指します。

## 2 締結先(詳細は裏面)

台湾 彰化県 しやとうきょう 社頭郷

郷長：蕭 しょう 如意 にょい

人口 43,866人 面積 36km<sup>2</sup>

戸数 12,622戸

## 3 経緯および内容

群馬県では、東アジアからの誘客をはかるために観光戦略に取り組み、彰化県とはお互いの地域の発展を目指すことを目的に、観光や農畜産物などの経済分野において、相互に協力しあうことを内容とする友好協力協定を締結しています。このような背景から、市では台湾からの観光誘客促進に向け、本市との交流先の紹介を彰化県長に依頼（平成26年5月9日）し、このたび自治体（社頭郷）の紹介をいただきました。

台湾からの観光誘客促進に向け、トップセールスのため11月7日～9日の3日間台湾を訪問します。このときに、社頭郷と「経済分野における友好協力に関する協定」の調印を予定しています。（11月7日調印予定）

## 参 考

### 1 彰化県行政区（1市7鎮18郷）

市 1 彰化市

鎮 7 鹿港鎮 和美鎮 北斗鎮 員林鎮 溪湖鎮 田中鎮 二林鎮

郷 18 線西郷 伸港郷 福興郷 秀水郷 花壇郷 芬園郷 大村郷 埔塩郷 埔心郷

永靖郷 社頭郷 二水郷 田尾郷 埤頭郷 芳苑郷 大城郷 竹塘郷 溪州郷

※彰化県 人口：132万人 面積：1074km<sup>2</sup> 県長：卓 伯源

行政区画：1市7鎮18郷

※台湾の市・鎮・郷は日本の市・町・村を意味します。

### 2 群馬県内での台湾との交流

群馬県と彰化県 平成24年12月17日友好協力協定締結

群馬県と台中市 平成24年12月18日 //

群馬県と高雄市 平成25年 3月 4日 //

みなかみ町と台南市 平成25年12月13日友好都市協定締結

## 社頭郷

社頭郷は台湾彰化県の南東にあり、明朝の末で漢人は大陸から台湾に入り、台湾先住民族の村を「社」と呼んで、当時社頭郷は洪雅族大武郡社の首領（頭首）の居場所なので、「社頭」と名づけられました。現在苗字「蕭」の人が一番多くて、彰化県内では「社頭蕭一半、鹿港施了」（社頭人口の半分は蕭姓さんで、鹿港一番影響があるのは施姓です）という言葉があり、グアバと靴下の生産が有名で、「グアバ多い、靴下多い、社長多い」言葉もあります。

### 産業について

- 農産：社頭は質が良いお米以外、「グアバ王国」の美称があります。名産の「水晶グアバ」と「珍珠グアバ」はとても有名です。そのほか、ライチ、龍眼、パイナップル、白柚なども人気の農産品です。
- 工業：第二次世界大戦の後、鄭氏親子は社頭で一つ目の「勝利靴下工場」を創立し、それは社頭郷が「靴下の故郷」になるきっかけでした。1960年代、社頭の靴下生産量は台湾の七割で、輸出も多くしていました。今は「靴下工業地域」計画と共に、未来の輝き産業になると期待されています。
- 観光業：歴史がある文化遺産と豊かな自然がある社頭は、素晴らしい観光基礎を持っています。台湾新幹線が「八卦台地」に經由するお陰で、社頭の麓でコーヒーを飲みながら、新幹線を眺めることが流行っています。



【中華民国の行政区図】

### 彰化県行政区 (1市7鎮18郷)

- |   |    |     |     |            |     |
|---|----|-----|-----|------------|-----|
| 市 | 1  | 彰化市 |     |            |     |
| 鎮 | 7  | 鹿港鎮 | 和美鎮 | 北斗鎮        | 員林鎮 |
|   |    | 溪湖鎮 | 田中鎮 | 二林鎮        |     |
| 郷 | 18 | 線西郷 | 伸港郷 | 福興郷        | 秀水郷 |
|   |    | 花壇郷 | 芬園郷 | 大村郷        | 埔塩郷 |
|   |    | 埔心郷 | 永靖郷 | <u>社頭郷</u> | 二水郷 |
|   |    | 田尾郷 | 埤頭郷 | 芳苑郷        | 大城郷 |
|   |    | 竹塘郷 | 溪州郷 |            |     |